

差出人：九州農林水産物等輸出促進ネットワーク <yushutu\_sokusin-kyushu@maff.go.jp>  
送信日時：2026年7月9日木曜日 13:51  
件名：九州農政局 農林水産物・食品等輸出関連情報メールマガジンNo. 9 (2026.7.9)

九州農政局 農林水産物・食品等輸出関連情報メールマガジン2026.07.09

本メールマガジンは九州地域の輸出に関連した情報発信とネットワークづくりを支援するために配信しています。

〈No. 9インデックス〉

- ▶【1】【開催案内】輸出に関する各分野の専門家が登壇！！「オンライン専門家セミナー」
- ▶【2】【参加者募集】国際食品商談会「沖縄大交易会2026」
- ▶【3】【公募開始】R8当初サプライチェーン連結強化プロジェクト事業（3次公募）
- ▶【4】【情報共有】輸出された日本産農林水産物・食品の各国・地域における水際検査結果等（2026年7月）

【1】【開催案内】輸出に関する各分野の専門家が登壇！！「オンライン専門家セミナー」

昨年度も大変多くの方にご参加いただきました「オンライン専門家セミナー」を今年度も開催いたします。

事業者の皆様が輸出に取り組まれる中で、課題となるテーマを厳選し各分野の専門家から輸出拡大・強化のためのポイントを解説いただきます。

前回好評いただいたテーマに加えて、今回はインバウンド活用、包材規制への対応、外部人材の活用等のテーマを追加して開催いたします！

短い期間で様々な専門家からの話が聞ける貴重な機会です。  
ぜひこの機会をご活用ください！

↓イベントチラシ（セミナー詳細）

<https://www.gfp1.maff.go.jp/uploads/2026/06/Consortium2026.pdf>

====イベント概要====

- 日時：令和8年7月27日（月）から8月19日（水）まで
- 実施方法：オンライン(Microsoft Teams)
- 申込フォーム：<https://forms.office.com/e/zjNzG8R09Q>
- 申込期限：各セミナー開催日前日の17:00まで

=====

主催：農林水産省 輸出・国際局 輸出支援課

問合せ先：地方GFPオンライン専門家セミナー事務局

農林水産省からの委託事業者：有限責任監査法人トーマツ 當麻、保科、中村、林

E-mail：gfp\_senmonka@tohmatu.co.jp

【2】【参加者募集】国際食品商談会「沖縄大交易会2026」

沖縄サントリーアリーナにて開催される『国際食品商談会「14th沖縄大交易会」』をご案内させていただきます！

本年度は、2026年11月26日（木）・27日（金）のリアル商談会に加え、2026年8月から12月までのオンライン商談会を組み合わせた「ハイブリッド型」で開催いたします。

- 日時：2026年11月26日（木）～ 11月27日（金）
  - 会場：沖縄サントリーアリーナ（沖縄県沖縄市山内1丁目16-1）
  - 参加募集予定数
    - ・サプライヤー：230社以上
    - ・バイヤー：230社・15か国以上
- （海外ディストリビューター／レストラン／小売、国内百貨店、県内リゾートホテル・小売等）

■詳細・お申込みはこちらから（サプライヤー・バイヤー）

<http://gotf.jp/>

・サプライヤー募集概要

[https://gotf.jp/2026/pdf/s\\_youkou2026.pdf](https://gotf.jp/2026/pdf/s_youkou2026.pdf)

・バイヤー募集概要

[https://gotf.jp/2026/pdf/b\\_youkou2026.pdf](https://gotf.jp/2026/pdf/b_youkou2026.pdf)

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<問い合わせ先>

14th沖縄大交易会2026 サポートデスク

・サプライヤー用

E-mail: [supplier\\_okinawa-trade-fair@pp-okinawa.co.jp](mailto:supplier_okinawa-trade-fair@pp-okinawa.co.jp)

TEL: 050-1725-6190（土・日・祝日を除く平日9:30～17:30）

担当：窪田、宮里（株式会社アドスタッフ博報堂 内）

・バイヤー用

E-mail: [buyer\\_okinawa-trade-fair@aglin.jp](mailto:buyer_okinawa-trade-fair@aglin.jp) ※英語・中国語の問い合わせ可

TEL: 050-1720-2108（土・日・祝日を除く平日9:30～17:30）

担当：小野寺、吉満（株式会社Aglin 内）

---

### 【3】【公募開始】R8当初サプライチェーン連結強化プロジェクト事業（3次公募）

---

農林水産省では、R8当初予算サプライチェーン連結強化プロジェクト事業について、以下のとおり公募を開始しましたので、お知らせします。

■事業の概要：国内の生産事業者と海外の現地販売事業者、両者をつなぐ国内外の商社等で構成されるコンソーシアムが行う、生産から販売までの一気通貫した戦略的なサプライチェーンの構築に向けた取組を支援します

■公募期間：令和8年7月8日（水）～令和8年7月22日（水）正午まで（必着）

▼詳細はこちら

[令和8年度サプライチェーン連結強化プロジェクト事業の公募について（3次公募）：農林水産省](#)

---

### 【4】【情報共有】輸出された日本産農林水産物・食品の各国・地域における水際検査結果等（2026年7月）

---

農林水産省から、主な輸出先国・地域（以下「輸出先」といいます。）で最近公表された、日本産農林水産物・食品（以下「日本産食品」といいます。）の水際検査結果等についてお知らせいたします。

1. 中国（日本産食品の違反件数38件、2026年4月）

・日本産食品の違反件数は全463件中38件（参考：2026年3月は全445件中30件）で、国・地域別で違反件数が多かったのは上位からブラジル（98件）、日本（38件）及びエクアドル（32件）。

- ・日本の違反38件のうち、上海税関におけるものが29件で最多。次いで深セン税関の8件。
- ・公表されている不合格理由は、「要求に従った証明書又は合格証明書類の未提出」が22件で最多。次いで「未承認の遺伝子組み換え成分の検出」が9件。

#### 《注意》

・中国では、10都県（福島、宮城、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、長野、新潟）から輸出されるすべての食品・飼料等（新潟県産精米を除く）について、輸入停止措置が講じられています（10都県以外については農水省HPを参照）。

[https://www.maff.go.jp/j/export/e\\_info/attach/pdf/hukushima\\_kakukokukensa-85.pdf](https://www.maff.go.jp/j/export/e_info/attach/pdf/hukushima_kakukokukensa-85.pdf)

・上記10都県以外で製造された製品であっても、10都県を通過したことを理由として、中国税関において輸入不可とされた事案が発生しています。輸出の際にはご注意ください。

・中国の輸入食品海外製造企業登録管理システム（国際貿易シングルウィンドウ）に登録されている製造者等の名称、住所等の情報と、産地証明書記載内容が正確に一致していないこと、また産地証明書の主要加工原料の産地及び経路が正確に記載されていないことを理由に通関が認められない事例が発生しています。証明書申請の際は、登録された情報と正確に一致していることを十分にご確認ください。

また、「輸入食品海外製造企業登録管理規定」が改正され、海関総署令第280号として2026年6月1日より施行されていますのでご確認をお願いいたします。

[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/kigyuu\\_touroku4.html](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/kigyuu_touroku4.html)

・中国側より、中国食品安全国家基準に適合しない原材料及び添加物の使用など、製造加工工程に問題のある一部の食品生産企業について、当該企業からの輸入を一時停止するとの通達がありました。輸出にあたっては上記国家基準及び関連法令を再確認のほどお願いいたします。

（ご参考：中国海関総署輸出入食品安全局HP）

<http://jckspj.customs.gov.cn/spj/xxfw39/fxyj47/4677516/index.html>

## 2. 台湾（日本産食品の違反件数 6 件、2026年 5 月）

・公表された39件の違反のうち、日本産食品の違反件数は 6 件。内訳は、残留農薬基準超過 4 件（ブルーベリー 3 件（ピリベンカルブ、フロニカミド、ノバルロン）、メロン 1 件（メパニピリム））及び重金属基準超過 2 件（幼児向け米菓（カドミウム））。

#### 《注意》

・日本産いちごの残留農薬基準値超過が頻発しているため、衛生福利部食品薬物管理署は来年2027年5月31日までの間、日本産いちごの輸入検査において全ロット検査（検査費用は台湾当局負担）を行っています。（2026年5月19日付けで 1 年間延長されました。）また、残留農薬基準値超過が確認された一部の事業者に対しては、上記期間に関わらず輸入申請者による検査経費負担での全ロット検査が行われています。

・日本産かんきつ（きんかん、うんしゅうみかん等）について、残留農薬基準値超過が確認された一部の事業者に対しては、輸入申請者による検査経費負担での全ロット検査が行われています。

・日本産モクズガニから基準値を超えるダイオキシン類が検出されたことを受け、2027年6月18日までの間、日本産「その他活カニ類」の輸入検査において全ロット検査（検査費用は台湾当局負担）が行われています。輸出に取り組む事業者の皆様におかれては、必要に応じて自主検査を行うなど台湾の基準値（ダイオキシン類（WHO-PCDD/F-TEQ）3.5 pg WHO-TEQ/g、ダイオキシン及びダイオキシン様ポリ塩化ビフェニル類の合計（WHO-PCDD/F-PCB-TEQ）6.5 pg WHO-TEQ/g）遵守をお願いいたします。

・2025年の不合格事案の発生状況を踏まえ、2026年は以下の日本産の品目について検査を強化することを発表しています。

（検査強化品目）

いちご、うんしゅうみかん、その他かんきつ類、メロン（以上、残留農薬基準違反）、乳幼児用菓子、冷凍いわし・にしん類小魚（以上、重金属含有量基準違反）

（台湾衛生福利部HP）

<https://www.fda.gov.tw/TC/siteContent.aspx?sid=2409>

青果物の継続的かつ安定的な輸出を推進していくため、輸出に取り組む事業者の皆様におかれては、台湾の残留農薬基準の確認・順守をお願いいたします。

（農林水産省HP：残留農薬基準値に関する情報）

・このように青果物で残留農薬基準値超過が頻発しており、みなさまにおかれましては、台湾向けの生産方法を採用している園地から調達されるよう、改めて確認をお願いします。

3. 香港（日本産食品の違反件数2件、2026年5月）

・公表された違反は2件（スモークサーモン、冷蔵ウニ）。香港政府プレスリリースによると、違反理由はALPS処理水放出に伴う10都県産水産物の輸入停止関連であり、それぞれ、茨城県で加工、宮城県で製造された疑いがあるとのこと。

・香港当局のプレスリリース

[https://www.cfs.gov.hk/english/press/20260505\\_12374.html](https://www.cfs.gov.hk/english/press/20260505_12374.html)

[https://www.cfs.gov.hk/english/press/20260520\\_12401.html](https://www.cfs.gov.hk/english/press/20260520_12401.html)

《注意》

・輸入停止品の輸出や必要な書類の不備により、香港税関において輸入不可とされた事案が発生しておりますので、各輸出業者におかれましては、香港側の輸入業者と十分に連絡をとり、適切に対応するようにしてください。

4. 韓国（日本産食品の違反件数0件、2026年5月）

・同期間において、公表された違反はありませんでした。

5. タイ（日本産食品の違反件数1件、2026年5月）

・公表された日本産食品の違反は1件。内容は、残留農薬基準違反（イチゴ）。

6. 米国（日本産食品の違反件数14件、2026年5月）

・公表された日本産食品の違反は14件。内訳は、食品として不適格11件（フルーツゼリー9件及びソフトキャンディ2件）、未承認添加物の使用1件（フルーツゼリー）及び不適切表示2件（サプリメント1件及び飲料1件）。

7. EU（日本産食品の違反件数0件、2026年5月）

・同期間において、公表された違反はありませんでした。

8. 豪州（日本産食品の違反件数0件、2026年4月）

・同期間において、公表された違反はありませんでした。

《注意》

・中国、香港、韓国、マカオ、ロシアは原発事故に関連する輸入規制を措置しています。規制措置の内容、証明書の申請手続き等については、以下のページをご覧ください。

[https://www.maff.go.jp/j/export/e\\_shoumei/index.html](https://www.maff.go.jp/j/export/e_shoumei/index.html)



●農林水産物・食品の輸出支援ポータル

<https://www.jetro.go.jp/agriportal.html>

日本貿易振興機構（JETRO）や関係省庁・団体が収集した輸出に関する情報を一元的に提供しています。

●農林水産物・食品

<https://www.jetro.go.jp/industrytop/foods/>

農林水産物・食品の展示会や商談会等のイベント情報を提供しています。

●海外見本市、海外商談会、国内商談会、セミナー一覧

[https://www.jetro.go.jp/industry/foods/foods\\_schedule.html](https://www.jetro.go.jp/industry/foods/foods_schedule.html)

---

農林水産物等輸出相談窓口・問い合わせ先

---

<農林水産省ホームページ>

●農林水産物・食品輸出支援策ガイド

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/yusyutsugaido.html>

＜九州農政局ホームページ＞

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/>

★九州農政局や農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。配信をご希望される方は、ご登録をお願いします。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

★九州農政局 農林水産物・食品等輸出関連情報メールマガジンのバックナンバーはこちらからご覧いただくことができます。

(ネットワーク会員登録、メルマガ配信登録がこちらからできます。)

<http://www.maff.go.jp/kyusyu/keiei/zigyo/merumaga.html>

当メールマガジンの配信停止を希望される場合は、お手数をおかけしますが本メールに配信停止希望の旨返信をお願いいたします。

問合せ先：九州農政局 経営・事業支援部 輸出促進課

住 所：熊本市西区春日2丁目10番1号（熊本地方合同庁舎A棟）

電話：096-300-6382

